

2024年07月02日(火)【外為Lab】松田哲

タイトル:【「円キャリー・トレード」は、世界中の誰でもできる】

ドル/円の上昇が、連日、報道されています。

このドル/円上昇の、主な要因の一つが「円キャリー・トレード」です。

+++++

「円キャリー・トレード」は、円金利が突出して低いため、その低金利の円資金を借りて、その円資金を高金利通貨に交換して(つまり、外国為替取引をして)、高い利息を得ることで、利益を得ようとする行為(取引)です。

「円キャリー・トレード」のお話をすると、日本人は、自分の持っている円資金を銀行に円預金として預けても、利息がほとんど付かないけれど、その自分の持っている円資金を外貨に交換して預ければ、つまり、外貨預金などに外貨投資をすれば利息が付く、と考えます。

それは、その通りでもあります。

+++++

では、円資金を持っていなければ、そういう投資は出来ないのでしょうか？

自分の国の通貨(お金)を対象にすると、どうしても自分の保有している「お金」をイメージしてしまいがちですが、円もドルも自国通貨ではない国の人の立場に立ってみてください。

つまり、日本人でもアメリカ人でもない立場です。

日本とアメリカ(米国)以外なら、どこの国でも構わないのですが、例えば、ロシア人の立場で、考えてみましょう。

ロシアの通貨はルーブルです。

ですから、円も持っていませんし、ドルも持っていません。

そのロシア人が円金利の低いことに目を付けて、「円キャリー・トレード」をしようと考えます。

その人は、当然、円資金を持っていません。

しかし、持っていなければ、銀行で借りてくれば良いのです。

円のローン（借金）は、日本人でなければ出来ない訳ではありません。

+++++

もちろん、ドル／円の為替レートは変動していますし、外国為替取引をする場合には、手数料がかかります。

円資金で借りるときにも、ドル預金をするときにも、実際には手数料がかかります。

しかし、ここで言いたいのは、日本人やアメリカ人でなくとも、どこの国の人でも、同じことが出来る、ということです。

具体的に、ロシア人を例えに挙げましたが、ロシア人でなく、英国人でも、フランス人でも、インド人でも、中国人でも、何人でも全く同じです。

そして、もちろん、それが日本人でもアメリカ人でも、全く同じだということです。

つまり、「円キャリー・トレード」は、円資金を借りるならば、日本人でも、世界中のどこの国の人でも、全く、同じことが出来る、ということです。

+++++

「円キャリー・トレード」が、世界中の誰にでもできる取引ならば、それは世界中に拡大している、と考えるのが普通でしょう。

「円キャリー・トレード」が有効な時は、その「金利差」という根源が変わらない限り、「円キャリー・トレード」の拡大が持続する、ということ。

ただし、「円キャリー・トレード」そのものには、大きな矛盾があります。

その矛盾については、また、別の機会に述べます。

ここでは、「円キャリー・トレード」が、何故、拡大を続けているのか、その理由を考えてみました。

++++
++++

(2024年07月02日東京時間14:40記述)